

よくあるご質問と回答：

Arcserve UDP Archiving/Cloud Archiving

1. 共通

Q1. アーカイブとバックアップは何が違うのでしょうか？

バックアップは「復旧」を目的として、対象となるデータのある瞬間の状態を保存する行為を指します。これに対しメールのアーカイブは、法令遵守や証拠保全のために対象ユーザのメールを常時複製して保管する行為を指します。

[Top へ戻る](#)

Q2. メールのアーカイブを必要とするのはどのような業種や規模の企業なのでしょうか？

特に業種や企業規模には関係なく、コンプライアンスや訴訟対策、証拠保全の為にすべてのメールの確実な保管と参照が必要な企業でご利用いただけます。

[Top へ戻る](#)

Q3. Arcserve UDP Archiving とはどのような製品なのでしょうか？

Arcserve UDP Archiving / Arcserve UDP Cloud Archiving（以後、クラウドサービスも含めた共通名称として **UDP Archiving** と略記）は、企業のメールの保管と監査や証拠開示の際に簡単、迅速に膨大なメールにアクセスするためのメールアーカイブソリューションです。UDP Archiving は、Microsoft Office365 や G Suite などの大量のストレージを必要とするメールシステムのストレージの削減にも寄与します。

[Top へ戻る](#)

Q4. UDP Archiving はどのような時に必要なのでしょうか？

UDP Archiving 導入のメリットは、主に以下の2点です：

- 退職者のメールと法的開示要求に対応するために、メールシステムとは別の場所にメールを保管しておく必要があります。そうすることで、安全性が向上し、法規制やコンプライアンスを遵守できるようになります。しかも、運用中のメールシステムのストレージ需要が減少し、パフォーマンスを向上できます。
- Office 365/G Suite などのクラウドサービスで提供されるメールデータを、オンプレミスまたは Arcserve データセンターに保管する際に活用できます。Exchange ジャーナルからメールを取り込み、保管することで、メールの検索が柔軟にできるようになるだけでなく、監査証跡や破棄や保管のルールを徹底できるようになります。

[Top へ戻る](#)

Q5. UDP Archiving はどのメールシステムに対応していますか？

Microsoft Exchange、Office 365、G Suite、Postfix に対応しています。

[Top へ戻る](#)



Q6. Exchange の連絡先や予定表などもアーカイブできますか？

いいえ。アーカイブの対象は電子メールだけです。

[Top へ戻る](#)

Q7. UDP Archiving サーバが、障害やメンテナンスなどの理由でサービスを停止した場合、その間の送受信メールはアーカイブ・保管できないことになりますか？

いいえ。UDP Archiving サーバが停止中にアーカイブできなかったメールは、メールシステムが一定期間保留しており、UDP Archiving サーバがサービスを再開した時点でアーカイブします。保留期間の日数はメールシステムの設定のため、メールシステムの管理者に確認ください。

[Top へ戻る](#)

Q8. アーカイブしたメールは暗号化して保管されますか？

はい。圧縮と暗号化が行われた状態で保管されます。

[Top へ戻る](#)

Q9. UDP Archiving は Exchange Server/Office365 などにエージェント ソフトウェアのインストールが必要ですか？

いいえ、不要です。UDP Archiving は、Exchange ジャーナルを介して送受信されたメールを収集します。

[Top へ戻る](#)

Q10. UDP Archiving は、保管したアーカイブを検索できますか？

UDP Archiving は、メール件名、本文、送受信者、添付ファイルや送受信時期、タグやメモなど様々な検索条件で目的のメールを抽出することが可能です。結果画面からメールを表示すると、検索でヒットしたテキストが強調表示されます。メールは、タグを使用してタグ付けすることで高速に検索することが可能です。検索したメールを、単体メールは eml 形式で、複数メールは zip 圧縮ファイルとしてエクスポートできます。

[Top へ戻る](#)

Q11. UDP Archiving は、防衛的破棄に対応できますか？

はい、可能です。UDP Archiving は、企業全体の保持ポリシーに加えて、個々の保持ポリシーを定義できます。法規制に準拠するためにメールを保持する必要がある場合、保持期間が経過すると自動的に削除するよう設定することが可能です。

[Top へ戻る](#)

Q12. ユーザは UDP Archiving からメールを削除できますか？

はい、コンプライアンス管理者のみが任意のタイミングでアーカイブされたメールを削除できます。それ以外では管理者が指定した保持期間の満了まで削除されません。

[Top へ戻る](#)

Q13. UDP Archiving はアーカイブ用ストレージ消費の削減の為、どのような工夫をしていますか？

UDP Archiving はシングル インスタンス ストレージ (SIS) と圧縮を組み合わせて使用することで、アーカイブ用のストレージ容量を削減できます。メールのメッセージ ID を利用し、同じ ID のメールは 1 度だけ保管される仕組みになっています。

[Top へ戻る](#)



Q14. UDP Archiving では、誰がメールデータにアクセスできますか？

UDP Archiving の管理コンソールで管理者がアクセス権限を設定しますが、メールには一切アクセスできません。法務担当者など監査人の役割を持つユーザは、メールの検出と監査検索のために複数のメールボックスにアクセスできますが、エンドユーザは自分のメールボックスにだけアクセスを許可されます。Outlook プラグインを利用すると、使い慣れた Outlook の画面からエンドユーザ自身がアーカイブにアクセスできるため、メールボックスから削除されたメールを検索して復元することも可能です。

[Top へ戻る](#)

Q15. Arcserve UDP Archiving はマルチテナントに対応していますか？

はい、Arcserve UDP Archiving はマルチテナントに対応していますので、部門や拠点が分散している企業や環境で利用いただくことが可能です。また、管理サービスプロバイダがサービスとして提供も可能です。

[Top へ戻る](#)



2. Arcserve UDP Archiving 6.0

Q1. Arcserve UDP Archiving 6.0 はどのように展開できますか？

Arcserve UDP Archiving 6.0（以降、Arcserve UDP Archiving と略記）は、VMware esxi、Microsoft Hyper-V 上に仮想アプライアンスとして展開できます。これらは、オンプレミスだけでなく、プライベート、または、Amazon EC2、Microsoft Azure といったパブリッククラウドのインスタンスとしても展開できます。

[Top へ戻る](#)

Q2. Arcserve UDP Archiving サーバのバックアップはどのようにするのでしょうか？

Arcserve UDP Agent for Linux でバックアップしてください。ベアメタル復旧にも対応しています。UDP Agent for Linux のライセンスは Arcserve UDP Archiving に同梱されないため、別途 Arcserve UDP Advanced Edition 以上を購入してください。Arcserve UDP Advanced Edition を vSphere / Hyper-V 上で使用する場合は仮想化ホストの物理 CPU 数分のソケットライセンス、Amazon EC2、Microsoft Azure インスタンスとして使用している場合はサーバ単位のライセンスが必要です。

[Top へ戻る](#)

Q3. 購入したライセンス数以上のメールボックスの送受信をアーカイブできますか？

はい。メールアーカイブは継続されますが、ライセンスが割り当たらず利用条件を満たしていてもログインできないユーザがでできます。すべての従業員がログイン / 検索機能を利用するには不足するライセンスを追加購入し割り当てるか、検索不要な従業員のライセンスを開放し、ライセンスを再配分します。

[Top へ戻る](#)

Q4. Arcserve UDP Archiving は、どのようなライセンスが提供されていますか？

Arcserve UDP Archiving は、ライセンス プログラムとサブスクリプションで提供されます。過去のメールを.pst ファイルや.box ファイル、eml ファイルから取り込むための機能も無償提供されています。

[Top へ戻る](#)

Q5. 購入前のトライアルはできますか？

はい。30 日間の無償トライアルが可能です。

<https://www.arcserve.com/jp/free-archiving-software-trial/>から導入する環境に応じた、仮想アプライアンスをダウンロードして展開します。

[Top へ戻る](#)



3. Arcserve UDP Cloud Archiving

Q1. Arcserve UDP Cloud Archiving はどのような特長を持つクラウドサービスですか？

Arcserve UDP Cloud Archiving は、初期設定済の Arcserve UDP Archiving サーバを提供するクラウドサービスです。お客様自身での展開作業や初期設定が不要になるだけでなく、購入いただいたストレージサイズの範囲内であればメールボックス数の制限無くメールをアーカイブできます。大容量のメール環境でもコストを抑え、クラウドでのメールアーカイブを実現できます。

[Top へ戻る](#)

Q2. Arcserve UDP Cloud Archiving は注文からどれくらいの期間で使い始められますか？

初期構築に必要なドメイン名などの情報に不備が無ければ、注文から 7 営業日以内に Arcserve UDP Archiving サーバへのアクセスを提供します。注文方法や発注時に Arcserve への連絡が必要な情報については[スタートアップガイド](#)をご参照ください。

[Top へ戻る](#)

Q3. Arcserve UDP Cloud Archiving にアーカイブできるメールの容量に上限はありますか？

1 台の Arcserve UDP Cloud Archiving サーバの最大容量は 30 TB です。
それ以上の容量をアーカイブしたい場合は弊社または販売店までご相談ください。

[Top へ戻る](#)

Q4. 購入したストレージ容量に達した場合はどうなりますか？

Arcserve UDP Cloud Archiving にアーカイブ（保存）されるデータ容量が、購入済みのストレージ容量の 80%を超えた時点で指定のメールアドレスにアラートメールが送信されます。また、90%を超えた時点で新しいメールのアーカイブが停止します。容量が上限に達する前に追加のストレージのサブスクリプションを購入してください。

[Top へ戻る](#)

Q5. もっと詳細な情報が知りたい場合はどうすれば良いのでしょうか？

[Arcserve ポータルのカタログセンタ](#)や[ユーザガイド](#)で詳細な情報を参照いただけます。また購入前のご質問は [Arcserve ジャパン ダイレクト](#)でも承ります。

[Top へ戻る](#)

